

2020年度国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修・選択	講義・演習・実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
PBL入門	福山 悠介、後藤和史、相原 征代	1	2020年度前期	必修	講義	2	旅行業界に勤務する者から、企業が実際に抱える課題を学生らに課し、学生が提示した解決策について、社会人の観点から審査を行う。
心理学	林 洋一	1	2020年度前期	選択	講義	2	スクールカウンセラーとして中学生や保護者・教員のカウンセリングに応じた経験、さらに精神科病院や大学の心理相談機関相談員を務めた経験から得られたこと等を適宜紹介する。
宗教学	福江 充	1	2020年度後期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の宗教史跡・祭祀遺跡などの情報等も交え、一般的な宗教学の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
日本史	福江 充	1	2020年度前期	選択	講義	2	県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
教職論	板倉 栄一郎	1	2020年度後期	選択	講義	2	高等学校で約20年間、生徒を指導した経験をもつ教員による指導を行う。特に、実際に指導してみることで経験知としてわかる点について触れる。学生自身がグループでディスカッションを通して、現在の教職の課題はどういう点なのかをまとめる。しかし、実務経験者としての学校現場で指導した経験をもつものは、学生が気付かない点についていくつも経験知を積み重ねている。例えば、児童生徒を見守る保護者への説明責任、チーム学校として教職員の連携が大切であるが実際には仕事の偏りがある点、地域連携は大切だが地域との関わる時間は勤務時間外が多くなる点など、文章化されていない点にまで考えを深める視点を実務家教員によって与えていく。
文化資源学入門	長谷川 孝徳	2	2020年度前期	選択	講義	2	博物館で文化財保存担当の学芸員として勤務した経験を有する教員が、文化資料体について解説する。
文化資源学(歴史・民俗)	福江 充	2	2020年度後期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、一般的な日本通史の内容と関連づけて、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
芸術学	廣田 いずみ	2	2020年度後期	選択	講義	2	美術館・博物館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、美学・美術史を概説し、作品の見方・味わい方・魅力を、作り手と受け手の仲介であるという学芸員の視点を加えて、解説する。
旅行業務 I	村上 こずえ	2	2020年度前期	選択	講義	2	旅行業務の国家資格を持ち、旅行関連業界である航空会社で勤務経験を有する非常勤講師が国家試験対策のための授業を行う。
現代社会と職業	桧森 隆一	2	2020年度後期	選択	講義	2	大手メーカーで幅広い勤務経験を有する教員が、その経験を生かして学生の職業への理解を深め進路を考えさせる講義を行う。
Global Issues	田中 康友、福山悠介、相原 征代	2	2020年度後期	選択	講義	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官が、軍事的観点から南シナ海問題に関する講義を行う予定である。
現代日本論	福山 悠介、桧森隆一	2	2020年度前期	選択	講義	2	企業での勤務経験のある教員(桧森)が、日本の経済と企業の現状について説明する。
教育課程論	板倉 栄一郎	2	2020年度前期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
英語科教育法 I	階戸 陽太	2	2020年度前期	選択	講義	2	中学校教員としての指導経験から、学習指導要領、理論と実際の学校現場を踏まえて、授業見学、模擬授業で指摘を行う。また、生徒指導、学級経営などの視点も取り入れながら、広い視点から教科指導について取り扱う。
英語科教育法 II	階戸 陽太	2	2020年度前期	選択	講義	2	中学校教員としての指導経験から、学習指導要領、理論と実際の学校現場を踏まえて、授業見学、模擬授業で指摘を行う。また、生徒指導、学級経営などの視点も取り入れながら、広い視点から教科指導について取り扱う。
教育方法論	板倉 栄一郎	2	2020年度後期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
文化資源学(史跡・名勝)	福江 充	3	2020年度前期	選択	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識をはじめ、各地の文化財に関する様々な知識及び取り扱い技術なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
文化資源学(美術・工芸)	廣田 いずみ	3	2020年度後期	選択	講義	2	博物館・美術館で、美術及び工芸を担当する学芸員として勤務してきた教員が、石川県の美術・工芸の現状及び歴史、またその魅力について、解説する。
観光文化計画	桧森 隆一	3	2020年度後期	選択	講義	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光のマーケティング、商品企画を指導する。
専門ゼミナールⅢ	桧森 隆一	3	2020年度前期	選択	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
専門ゼミナールⅢ	長谷川 孝徳	3	2020年度前期	選択	演習	2	博物館で学芸員として勤務した経験を有する教員が、調査・研究方法を指導する。
専門ゼミナールⅣ	桧森 隆一	3	2020年度後期	選択	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
専門ゼミナールⅣ	長谷川 孝徳	3	2020年度後期	選択	演習	2	博物館で学芸員として勤務した経験を有する教員が、調査・研究方法を指導する。
職業理解とインターンシップ	福山 悠介、桧森隆一	3	2020年度前期～後期	選択	実習	2	企業での実務経験のある教員(桧森)が、現代社会における企業のあり方、またそうした企業で働く社会人のあり方について考えさせる
旅行業務 II	村上 こずえ	3	2020年度前期	選択	講義	2	旅行業務の国家資格を持ち、旅行関連業界である航空会社で勤務経験を有する非常勤講師が国家試験対策のための授業を行う。
現代アメリカ論	田中 康友	3	2020年度後期	選択	講義	2	海上自衛隊幹部学校の制服自衛官の教官による講義を行う予定である。
国際協力論	田中 康友	3	2020年度後期	選択	講義	2	日本政府として国際協力を実行しているJICAの役割を理解するためにJICA北陸センター所長による講演を、また青年海外協力隊としてカンボジアでの教育支援を経験を持つ元協力隊員による講演を予定している。
国際交流論	田中 康友	3	2020年度後期	選択	講義	2	石川県および、本学と連携協定を締結する金沢市、加賀市、輪島市より担当職員の方をお招きして、地方自治体のグローバル戦略を学ぶ。地元企業の中で海外展開をしているカタニ産業株式会社の代表取締役社長蚊谷要平氏をお招きして、企業のグローバル戦略を学ぶ。
コミュニケーション技法 II	福山 悠介、桧森隆一	3	2020年度後期	選択	講義	2	企業での勤務経験のある教員(桧森)が社会人に必要なコミュニケーション能力について指導した上で、学生のコミュニケーション能力を評価する。
海外インターンシップ	桧森 隆一	3	2020年度前期	選択	実習	1	企業で実務経験のある教員が、海外で働くために必要な意識と能力について指導する。また海外でのインターンシップを中心とした実践的教育である。
英語科教育法Ⅲ	階戸 陽太	3	2020年度前期	選択	講義	2	中学校教員としての指導経験から、学習指導要領、理論と実際の学校現場を踏まえて、授業見学、模擬授業で指摘を行う。また、生徒指導、学級経営などの視点も取り入れながら、広い視点から教科指導について取り扱う。
英語科教育法Ⅳ	階戸 陽太	3	2020年度後期	選択	講義	2	中学校教員としての指導経験から、学習指導要領、理論と実際の学校現場を踏まえて、授業見学、模擬授業で指摘を行う。また、生徒指導、学級経営などの視点も取り入れながら、広い視点から教科指導について取り扱う。
道徳教育論	板倉 栄一郎	3	2020年度前期	選択	講義	2	高等学校で約20年間、生徒に対して道徳を指導してきた経験から、学習指導要領では学べない実際の指導上の課題や留意点を踏まえた道徳教育の理論と指導法について講義する。また、実際に模擬授業を行い、自分自身が体験的に指導方法を学ぶことで理解を深める。
特別活動論	板倉 栄一郎	3	2020年度後期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
生徒・進路指導論	板倉 栄一郎	3	2020年度前期	選択	講義	2	担当教員は高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。
教育相談	原田 克巳	3	2020年度後期	選択	講義	2	・臨床心理士であり、公立小学校でのスクールカウンセリング、及び大学附属中学校・高等学校での教育相談に従事している教員が、教育相談に係わる事案とその対応方法について講義する。
文化資源学(世界遺産)	長谷川 孝徳	4	2020年度前期	選択	講義	2	博物館で文化財保存の担当の学芸員として勤務した経験を有する教員が、文化遺産について解説する。
文化政策論	長谷川 孝徳	4	2020年度後期	選択	講義	2	文化財担当公務員として勤務した経験を有する教員が、文化政策について解説する。

2020年度国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科「実務経験のある教員等による授業科目」

卒業研究Ⅰ	桧森 隆一	4	2020年度 前期	必修	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
卒業研究Ⅰ	長谷川 孝徳	4	2020年度 前期	必修	演習	2	博物館で学芸員として勤務した経験を有する教員が、フィールド調査手法や実物資料を用いた研究方法を指導する。
卒業研究Ⅱ	桧森 隆一	4	2020年度 後期	必修	演習	2	企業において文化産業及びサービス産業のマーケティングの経験のある教員が、サービス産業の一分野としての文化観光の研究を豊富な事例を基に指導する。
卒業研究Ⅱ	長谷川 孝徳	4	2020年度 後期	必修	演習	2	博物館で学芸員として勤務した経験を有する教員が、フィールド調査手法や実物資料を用いた研究方法を指導する。
英語通訳・翻訳研究Ⅰ	本間 千重子	4	2020年度 前期	選択	講義	2	通訳翻訳業務、旅行業務の経験ある者が、その経験を活かして、通訳及び翻訳メソッドを指導する。
英語通訳・翻訳研究Ⅱ	本間 千重子	4	2020年度 後期	選択	講義	2	通訳翻訳業務、旅行業務の経験ある者が、その経験を活かして、通訳・翻訳メソッドを指導する。
教職実践演習(中・高)	板倉 栄一郎、階戸 陽太	4	2020年度 後期	選択	講義	2	担当教員は、両名とも高等学校に勤務した経験があり、教育現場での多くの経験を参考に授業を展開する。また教育現場から講師を招聘し実際の話聞く。
北陸の文化と社会	福江 充	1・3	2020年度 前期	必修	講義	2	富山県の県立博物館で歴史学・民俗学・宗教学担当の学芸員として勤務した経験を有し、その専門的な学術知識なども交え、受講生にわかりやすく、かつ深みを持たせて解説していく。
合計						91	